

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和57年9月6日 第21報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1420	○	
(珪) <i>Synedra ulna</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	20		
(緑) <i>Pandorina morum</i>	320		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	2560	◎	○
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	20		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	20		
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	120		◎
(緑) <i>Staurastrum sebaldi</i> var. <i>productum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	40	0.8	0.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1620	32.9	24.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	2.4	2.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	3140	63.8	72.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	4920	総体積	9.70E+06
種 類 数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	2560

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	1420

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Melosira granulata***  
(メロシラグラヌラータ)  
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。